

第 73 回 愛知県河川整備計画流域委員会 議事抄録

<豊川上流圏域（第 2 回）>

日時：令和 2 年 12 月 23 日（水）

11 時 10 分～12 時 00 分

場所：愛知県本庁舎 正庁

◇議題

豊川上流圏域（第 2 回）

- 河川整備計画（骨子）について
- 質疑

◇質疑応答（豊川上流圏域（第 2 回））

【委員】

P33 の T-N、T-P について、T-N は 0.5mg/L 以下、T-P は 0.02mg/L 以下だときれいだと思うので、きれいだと思わせるような記述にした方がよい。

【事務局】

T-N0.5mg/L、T-P0.02mg/L に着目して記述内容を修正する。

【委員】

P46 の住民アンケート結果について、「水害に対して安全であると感じている住民の割合が多い」とあるが、最近の雨の降り方等から短時間に多くの雨が降り急に水位が増えることが度々あるので、安全であるという意識を拡大すると心配である。

【事務局】

アンケート結果については、これまでの経験がないので安全であるという方が多かったのは事実である。過度な安心感は危険であるため、必要な情報を周知して、危機感を持っていただけるようにしていきたい。

【委員】

P51 の計画の目標流量をどのように説明するのか。年超過確率規模 1/10 はどういうことか。この時ダムからはどのような放流状態で考えているのか。計画規模が 10 年であるが、ダムの直下流や直轄区間とのつながりのところについて、流量配分図を描くときにどのように説明するのか。

【委員】

国の整備基本方針では、石田地点で 4,100m³/s となっているので、このあたりとの関係も含めてどう説明するのかを教えてほしい。

【事務局】

県の区間としては、P51 の年超過確率規模 1/10 である。設楽ダムができた場合、設楽ダムか

らの放流も考慮して石田地点で 4,000m³/s ということで、これを対象の流量として設定している。

治水の整備は、基準点で 4,000m³/s という流量に対して宅地被害をなくすということで整備内容を決めており、桜淵公園というところで右岸側にパラペットを整備する。

P49 の国の整備計画は石田地点で 4,100m³/s で、計画規模は概ね 1/30 で昭和 44 年の実績流量を対象としている。県の計画と 100m³/s の差があるが桜淵公園のパラペット整備で 4,100m³/s についても越水は防げる整備としている。

【委員】

1/10 の降雨がこの流域に降った時、設楽ダムはどのように放流されるのか。

【事務局】

設楽ダムはゲート操作ではなく、自然放流となっており、現在想定されている形状で計算している。

【委員】

アンケートに問 2 で治水対策について質問しているが、アンケートと一緒に配られる予定には具体的に何を実施するか記載されていない。住民は、ダムができてどのように治水に影響を与え、防災とどう関係するかを知りたいと思うし、これに対して意見を聞いた方がよいのではないか。

【事務局】

河川整備計画(骨子)の概要に整備目標と実施内容を記載しているが、もう少しわかりやすく示すようにする。

ダムの効果は、1/10 洪水に対して例えば水位が何センチ低下するか等をパンフレットに示すように修正する。

【委員】

P30 に「魚道が設置されていない長篠堰堤により連続性に問題がある」と記載があるが、滝であるため魚はめったに遡上しない。魚道を設置するのか、県の見解を教えてほしい。

【事務局】

P30 の記述は不適當である。記述内容を削除する。

【委員】

長篠堰堤は奥三河のナイアガラといわれるところか。観光地となっているところに魚道を設置するのか。

魚道の有無の記述について、魚の種類によって遡上しやすいなどの違いはあるのか。また、今後魚道を改善する余地はあるのか。

P15 に「三遠南信道路が開通」と記載しているが、三遠南信道路は完成していない。愛知県内の三遠南信道路が開通というように記載した方がよい。

【事務局】

奥三河のナイアガラは長篠堰堤のことである。

魚道の有無については、機能しているという前提で整理している。

三遠南信道路については、記載内容を修正する。

【委員】

みんなが川で遊べるような仕組みを今後考えていただければと思う。

[了]